仕様

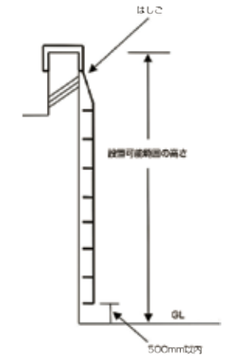
※設置可能範囲の高さとは･･･
　はしご取付位置から降着面までの高さ（最下段横桟が降着面から 500mm 以内に収まる高さ）

OA

型式番号	品名	有効長(mm)	設置可能範囲の高さ	重量(Kg)	格納箱寸法 横幅×奥行×高さ(mm)
●自在フック型 は第28～6号	0A- 41	3630	4540まで	6.0	折りたたみ用格納箱(S) 458×270×447（ポリプロピレン） 442×222×403（ステンレス）
	0A- 51	4620	5530まで	7.1	
	0A- 61	5610	6520まで	8.3	
	0A- 71	6600	7510まで	9.4	
は第28～5号	0A- 81	7590	8500まで	10.5	折りたたみ用格納箱(M) 588×270×447（ポリプロピレン） 572×222×403（ステンレス）
	0A- 91	8580	9490まで	12.1	
	0A-101	9570	10480まで	13.2	
●ナスカンフックA型 は第28～7号	0A- 42	3630	4660まで	5.4	折りたたみ用格納箱(S) 458×270×447（ポリプロピレン） 442×222×403（ステンレス）
	0A- 52	4620	5650まで	6.5	
	0A- 62	5610	6640まで	7.7	
	0A- 72	6600	7630まで	8.8	
	0A- 82	7590	8620まで	9.9	折りたたみ用格納箱(M) 588×270×447（ポリプロピレン） 572×222×403（ステンレス）
	0A- 92	8580	9610まで	11.1	
	0A-102	9570	10600まで	12.2	
●ナスカンフックB型 は第28～8号 (100φに取付けた状態とする)	0A- 43	3630	4680まで	5.1	折りたたみ用格納箱(S) 458×270×447（ポリプロピレン） 442×222×403（ステンレス）
	0A- 53	4620	5670まで	6.2	
	0A- 63	5610	6660まで	7.3	
	0A- 73	6600	7650まで	8.4	
	0A- 83	7590	8640まで	9.6	折りたたみ用格納箱(M) 588×270×447（ポリプロピレン） 572×222×403（ステンレス）
	0A- 93	8580	9630まで	10.7	
	0A-103	9570	10620まで	11.8	

※ 品番の構成は上記のように区分表示してあります。

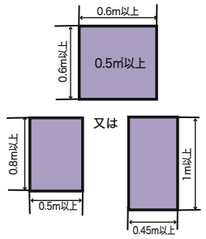
OA - 41 自在フック型
OA - 42 ナスカンフックA型
OA - 43 ナスカンフックB型
（はしごの長さ / フック金具の種類）



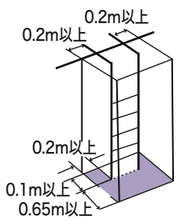
設置位置について

（1）操作面積
0.5㎡以上、一辺の長さはそれぞれ0.6m以上であり、当該器具の操作に支障のないこと。

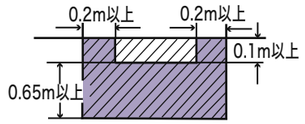
（2）開口部
取付部の開口部を壁面の部分に設ける場合。
高さ　0.8m以上　幅　0.5m以上
又は
高さ　1m以上　幅　0.45m以上
取付部の開口部を床面の部分に設ける場合。
直径0.5m以上の円が内接できるものであること。



（3）降下空間
縦棒の中心線からそれぞれ外方向に0.2m以上及び器具の前面から奥行0.65m以上の角柱形の範囲。
※ 降下空間と架空電線との間隔は1.2m以上、
避難はしごの上端と架空電線との間隔は2m以上。



（4）避難空地･･･幅員1m以上の避難通路に接続
降下空間の水平投影面積以上の面積



⚠ 注 意

- この「はしご」は設置基準にしたがって2階･3階でご使用ください。
- 訓練･避難時以外は使用しないでください。
- 荷物などを持って避難はしごを降りないでください。
- 滑りやすい「履物」で避難はしごを降りないでください。
- 握力の弱い人、特に老人や幼児等は避難はしごを使用しないでください。
- 製品の分解･改造はしないでください。

⚠ 定期点検

避難はしごは6ヶ月に1回の外観･機能点検、及び1年に1回の総合点検が義務付けられております。専門の有資格者の点検を受けてください。

お問い合せは･･･

ORIRO オリロー株式会社
本　社　〒112-0001　東京都文京区白山 4-25-6
URL : https://www.oriro.co.jp　e-mail : oriro@oriro.co.jp

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北 8 条西 24-1-3 TEL. 011-640-7744　FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町 1-16-6 TEL. 022-208-7744　FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見 4-28-35 アークパレス 1F TEL. 049-279-7744　FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山 4-25-6 TEL. 03-3814-7744　FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡 2-17-24 TEL. 045-277-7744　FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒453-0804	愛知県名古屋市中村区黄金通 1-3 ファンファーレ黄金 1F TEL. 052-352-7744　FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天 2-14-24 TEL. 06-6572-7744　FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水 3-9-21 TEL. 092-551-7744　FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王 724 TEL. 0256-92-7744　FAX. 0256-92-4949
埼玉東営業所	〒336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 5-16-20 ビューロ MK1F TEL. 048-829-7400　FAX. 048-829-7410
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470　FAX. 047-311-4474
東京西営業所	〒183-0022	東京都府中市宮西町 3-5-4　パークヒル 2F TEL. 042-319-0644　FAX. 042-319-0844
メンテナンス部	〒113-0001	東京都文京区白山 1-23-12 清水ハイツ 1F TEL. 03-3815-7744　FAX. 03-3815-7745
広島出張所 (九州支店管轄)	〒732-0052	広島県広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島506 TEL. 082-258-7220　FAX. 082-258-7221

●本製品は予告なく変更することがあります

2026.07　改訂版

備えあれば 安心･安全ライフ ORIRO

ORIRO OA避難はしご

国家検定合格品
自在フック型　型式番号 は第28～5号(91～101)
　　型式番号 は第28～6号(41～ 81)
ナスカンフックA型　型式番号 は第28～7号(42～102)
ナスカンフックB型　型式番号 は第28～8号(43～103)

ORIRO

OA避難はしご

OAシリーズは軽量で移動・設置が簡単な「吊り下げ式避難はしご」です。

- 持ち運び、設置が素早くできる取手付。
- 揺れの少ない、突子が平面構造。
- 建物の3階に対応できる、10mまで展張可能。
- アルミ製で軽量、選べる金具は３種類。

持ち運びが素早くできる便利な取手付。



折りたたみ用格納箱

【樹脂製】

※樹脂製格納箱は
室内専用になります。
（ポリプロピレン製）



【ステンレス製】



【はしご取付金具】

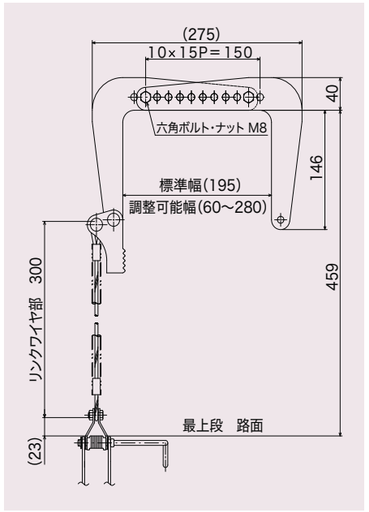


●自在フック型

は第28～5号 / は第28～6号



調整ボルトを外し、窓枠の幅に合わせ金具の幅を調整し、再度調整ボルトを締めておいてください。
窓枠の強度を充分に確認しておいてください。

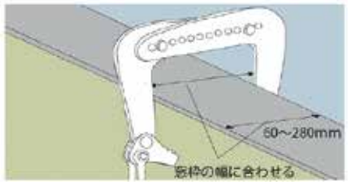


自在フックの調整ボルトを外して、窓枠の幅に合わせてボルトを締め調整しておいてください。
設置する際は窓枠の強度を充分に確認してください。

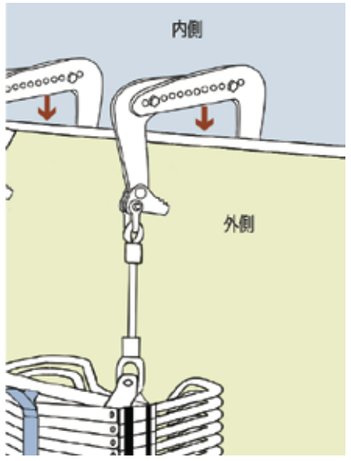


お願い

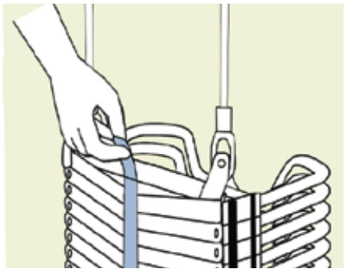
必ず2本のボルトで止めてください。



金具を両手で持ってはしごを外に出して、金具を窓枠に掛けます。突子が壁面に添うように取付けてください。



バンドの端を引っ張りながら外側に倒すと止め金具が解除されて、はしごは瞬時に展張します。

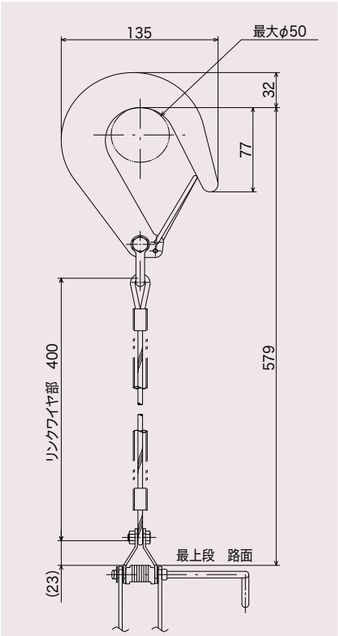


●ナスカンフックA型

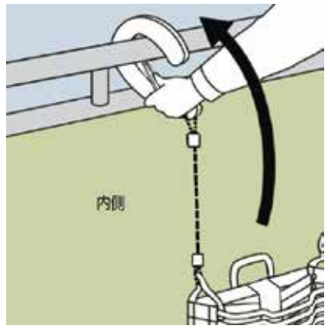
は第28～7号



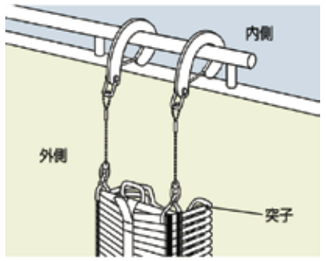
設置する手すりの外径寸法は50φ以内で使用してください。手すりの外径及び強度も充分に確認しておいてください。



突子面を手前に置き、フックを手すりに掛けます。



取手、突子等を持ち1回転して、はしごを外に出します。

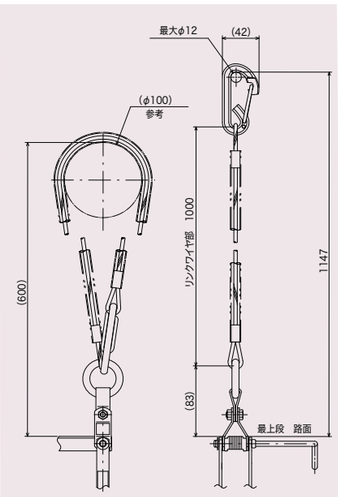


●ナスカンフックB型

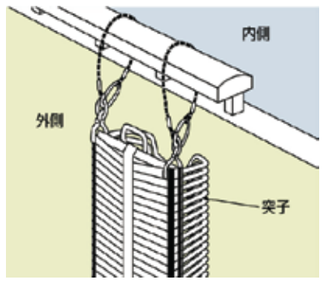
は第28～8号



50φ以上、または異形管等に対応。取付部の強度を充分に確認してください。



異形管等にワイヤーロープを一回転しリングにナスカンBを取付けます。



お願い

フックを必ずリングに掛けてください。



■ 保管場所

設置する場所の近くで、よく見える所に常設してください。「避難はしご」表示板は避難はしごの近くで、よく目立つ場所に貼ってください。また、雨水等のかからない湿気の少ない場所をお選びください。

■ 設置場所

地面または真下階面まで壁面が真っ直ぐな場所を選んでください。出窓など壁面から突き出たもののある場所は避けてください。設置場所を決める場合、窓枠や手すり等の強度を確認し、上階の設置場所が同じ位置にこないように設置してください。はしごの操作に必要な面積、避難に必要な空間を必ず確保できる場所に設置してください。

◆ 避難器具の設置基準上、下地補強（建築施工）が必要になる場合があります。